



小野町の産業おこし

豊かな自然と快適な都市機能の共存。それが小野町の目指す「阿武隈地域の拠点都市」です。磐越自動車道や、トライアングル・ハイウェイなど高速交通体系の確立、町の中央を流れる右支夏井川河川改修と市街地整備、農林業、商工業、観光など産業の振興、そして魅力とにぎわいのある商店街づくり。小野町は新時代にふさわしい都市整備を着々と進めています。



元気な暮らしが 集まるとして 笑顔の町が 生まれる



産業おこしに全力を！

◆農林業の振興 水稲、葉たばこ、野菜、畜産の組合せによる複合経営が中心である町の基幹産業の農業は、高齢化・後継者不足農産物の輸入自由化等多くの課題を抱えています。今後、新しい時代に対応できる農業経営基盤の整備を進め、担い手の育成・新規就農者の支援を図りながら、山間高冷気候の自然条件を生かした魅力あふれる農業の振興を図ります。

林業については、木材の生産を始めた森林のもつ多面的な機能を生かしながら、保全整備に努め、町民がやすらぎを求めることができる森林の活用を図ります。

◆商業の振興 消費者の意向に添った魅力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、事業規模の拡大・専門店化を促進し、店舗の共同化・協業化を図っていきます。

また、商工会との連携を深めながら、経営基盤の強化・後継者の育成を図り、新たに形成された郊外型商業地とともに、近隣の地域を取り込んだ商業圏の確立と交流人口の拡大による商業の振興を図り、活力ある商店街づくりを進めていきます。

◆石材業の振興 黒石山の黒みかげ石、日影山早渡、菖蒲谷、雁股田地区などの白みかげ石は、建築材や墓石として全国に出荷しています。また全国でもめずらしい蛭石も産出。土壌改良材として用いられています。

◆工業の振興 工業は町民の豊かな生活の基盤として、また、地域経済の発展に果たす役割は非常に大きなものがあります。

このため、良質な労働力の供給や交通網の整備など立地条件を十分に生かして、積極的な企業誘致活動を推進し、既存企業の育成・振興を努めるとともに雇用の確保・定住人口の増加を

図ついでいきます。

◆観光の振興 阿武隈高原に位置する恵まれた自然景観と史跡名勝、豊富なレクリエーション施設を活用、グリーンツーリズムを展開し、近隣町村との協調のもと、広域的な滞在型観光をめざします。温泉についても個性ある施設として観光客が滞在できるように新しいリゾートコミュニティの形成をめざします。

住民生活のまちづくりを！

町の中央を流れる右支夏井川は暮らしに欠かせない河川です。農業用水や上水道の供給水としてはもちろん、子供の水遊びの場や四季折々の景観を形づくってきました。いま、町では河川整備計画に基づいて住民の声を生かしながら、暮らしと河川、商業地区と河川、それぞれのよき関係を構築しようと、せせらぎのあるまちづくりを進めています。豊かで安全な川とのふれあいから、新しい小野町が生まれます。

◆豊かで、住みやすく！ 阿武隈地域の拠点都市をめざす機運が高まりをみせるなか、住環境の整備開発を推進し魅力ある商店街の育成に努め、土地区画整理事業、街路事業等を積極的に導入し、新しい時代にふさわしい都市整備を進めていきます。

◆交流条件の機能充実 地域開発及び町民生活の活性化、交流機会の拡大を図るためには、さらなる道路網の整備が大きなポイントとなります。

小野町は、磐越自動車道の開通により東北・常磐自動車道を結ぶ交通体系の要衝として位置付けられ、さらにトライアングルハイウェイの整備が着々と進んでおり、阿武隈地域の拠点にふさわしい地域として小野IC周辺開発を進めながら、近隣町村との連携をさらに強め、条件の整備に取り組んでいます。